



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 正和
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理本部長 (氏名) 中村 秀麿 TEL 075-313-6151
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,993	0.5	1,237	5.7	1,407	5.1	935	32.7
2019年3月期第3四半期	19,894	1.2	1,171	△3.1	1,339	△1.3	704	△27.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,267百万円 (ー%) 2019年3月期第3四半期 △481百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	49.19	—
2019年3月期第3四半期	37.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	49,049	39,449	80.0
2019年3月期	47,029	38,673	81.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 39,238百万円 2019年3月期 38,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
2020年3月期	—	10.00	—		
2020年3月期（予想）				12.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	2.9	1,750	13.6	1,900	9.4	1,300	57.5	68.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	19,064,897株	2019年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	92,423株	2019年3月期	42,339株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	19,017,511株	2019年3月期3Q	19,022,619株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出に弱さがみられ、また、消費税増税による個人消費の落ち込みなどの影響を受けて、景気の回復は鈍化傾向となっております。世界経済においては、中国の景気減速や米中間の貿易摩擦に加えて中東情勢の緊迫化等の要因により、先行き不透明な状況となっております。

物流業界におきましても、上記の経済環境が大きく影を落とし、国内、輸出入共に取扱高が減少傾向となりました。また、環境問題の意識の高まりにより一部貨物の取扱いに影響を受けたことや人手不足による人件費の増加が続くなど引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第6次中期経営計画「CHANGE! to 2021」の具体的取組を着実に実践に移し、また「CHANGE（意識・知識・組織）」の考え方の浸透を推し進めて参りました。また、顧客ニーズへの的確な対応と業務の効率化を図るため、既存設備の改修を進めるとともに、2019年5月にさらなる事業拡大のため滋賀県大津市に倉庫施設建築用地を取得し、2019年11月には北陸支店金沢営業所において倉庫の増築工事が完成・稼働しました。加えて、新分野への取組みと位置付けている梅小路地区資産有効活用計画については、その計画の一環として当社本社および京都支店梅小路営業所の隣接地である京都市市有地を2019年8月に取得し、2019年12月には計画の内容（建築建物の内容、建築時期、運営事業者等）について決定するなど、着実に進めております。

また、さらなる業務品質の向上を図るとともに、環境に配慮したグリーン経営の推進にも取り組み、経営の効率化に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、19,993百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は1,237百万円（前年同期比5.7%増）、経常利益は1,407百万円（前年同期比5.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年に特別損失に計上した減損損失がなくなったことと投資有価証券評価損が減少したこと等により935百万円（前年同期比32.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 倉庫業

倉庫業におきましては、入出庫高及び貨物回転率は前年同期に比し減少しましたが、保管残高は微増となりました。これらの結果、倉庫業の営業収益は4,897百万円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は前期に発生した新規保管取扱貨物に関する費用がなくなったこと等から608百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

② 運送業

運送業におきましては、取扱数量は減少し、人件費は増加しましたが、料金改定や配送・配車の効率化、営業活動に引き続き注力したこと等により、運送業の営業収益は9,544百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は797百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

③ 国際貨物取扱業

国際貨物取扱業におきましては、梱包業の取扱数量は減少し、通関業の取扱数量も輸入・輸出ともに減少しましたが、三国間貿易の取扱いが増加したことなどの影響により、国際貨物取扱業の営業収益は5,660百万円（前年同期比2.0%増）セグメント利益は369百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,020百万円増の49,049百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が816百万円、固定資産の建設仮勘定が969百万円、それぞれ減少しましたが、北陸支店金沢営業所倉庫増築工事が完成・稼働したことにより固定資産の建物及び構築物が1,606百万円、滋賀県大津市の倉庫施設建築用地と本社および京都支店梅小路営業所に隣接する京都市市有地を取得したこと等により土地が1,761百万円、それぞれ増加したことに加えて、保有株式の時価上昇により投資有価証券が491百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,243百万円増の9,599百万円となりました。これは主に、流動負債のその他に含まれております未払金が224百万円減少しましたが、新規借入れ等により流動負債の1年内返済予定の長期借入金が338百万円、固定負債の長期借入金が1,048百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ776百万円増の39,449百万円となりました。これは主に、利益剰余金が507百万円、その他有価証券評価差額金が337百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント減の80.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,928百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローで3,829百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローで884百万円の増加となり、前連結会計年度末に比べ1,016百万円(15.3%)減少し、当第3四半期連結会計期間末には5,625百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものであり、1,928百万円と前年同期と比べ511百万円(36.1%)の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に、定期預金の預入による支出及び有形固定資産の取得による支出によるものであり、3,829百万円と前年同期と比べ1,173百万円(44.2%)の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、主に、長期借入れによる収入によるものでありますが、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払いによる減少もあり、884百万円(前年同期は687百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、2019年5月10日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,891,865	7,075,233
受取手形及び営業未収入金	4,569,391	4,548,167
貯蔵品	8,274	6,077
その他	299,585	310,132
貸倒引当金	△2,400	△2,368
流動資産合計	12,766,717	11,937,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,331,795	13,938,502
機械装置及び運搬具(純額)	664,958	661,281
土地	10,201,430	11,962,569
リース資産(純額)	24,397	27,683
建設仮勘定	969,278	—
その他(純額)	132,813	124,863
有形固定資産合計	24,324,674	26,714,899
無形固定資産	43,743	39,863
投資その他の資産		
投資有価証券	9,478,379	9,970,238
繰延税金資産	54,720	37,541
退職給付に係る資産	5,702	9,439
その他	357,092	342,158
貸倒引当金	△1,915	△1,915
投資その他の資産合計	9,893,979	10,357,462
固定資産合計	34,262,398	37,112,226
資産合計	47,029,115	49,049,469

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,512,494	1,462,799
短期借入金	3,110,000	3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	256,057	594,668
リース債務	17,405	10,875
未払法人税等	210,780	105,218
賞与引当金	259,595	132,497
役員賞与引当金	37,300	28,150
その他	1,212,960	1,106,039
流動負債合計	6,616,593	6,550,248
固定負債		
長期借入金	238,554	1,287,553
リース債務	8,925	19,365
繰延税金負債	1,246,640	1,484,254
退職給付に係る負債	155,111	168,138
その他	90,023	90,016
固定負債合計	1,739,255	3,049,328
負債合計	8,355,848	9,599,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	29,953,871	30,461,268
自己株式	△36,791	△98,635
株主資本合計	34,915,181	35,360,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,491,100	3,828,513
為替換算調整勘定	199	△4,328
退職給付に係る調整累計額	62,328	53,858
その他の包括利益累計額合計	3,553,629	3,878,044
非支配株主持分	204,455	211,113
純資産合計	38,673,266	39,449,893
負債純資産合計	47,029,115	49,049,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益	19,894,536	19,993,622
営業原価	18,192,059	18,185,973
営業総利益	1,702,476	1,807,649
販売費及び一般管理費	531,227	569,780
営業利益	1,171,249	1,237,868
営業外収益		
受取利息	91	85
受取配当金	162,100	170,284
社宅使用料	9,112	9,088
持分法による投資利益	12,549	6,319
その他	16,228	14,048
営業外収益合計	200,083	199,825
営業外費用		
支払利息	22,500	25,797
その他	9,316	4,453
営業外費用合計	31,816	30,250
経常利益	1,339,516	1,407,443
特別利益		
固定資産売却益	10,005	8,078
特別利益合計	10,005	8,078
特別損失		
固定資産除却損	15,634	2,334
固定資産売却損	268	—
減損損失	147,774	—
投資有価証券評価損	97,083	3,516
特別損失合計	260,761	5,851
税金等調整前四半期純利益	1,088,759	1,409,670
法人税、住民税及び事業税	376,588	359,305
法人税等調整額	106	108,921
法人税等合計	376,694	468,227
四半期純利益	712,065	941,443
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,122	6,039
親会社株主に帰属する四半期純利益	704,943	935,404

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	712,065	941,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,190,817	338,787
退職給付に係る調整額	4,956	△8,470
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,288	△4,528
その他の包括利益合計	△1,193,149	325,789
四半期包括利益	△481,084	1,267,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△487,715	1,259,819
非支配株主に係る四半期包括利益	6,630	7,414

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,088,759	1,409,670
減価償却費	982,813	1,006,355
減損損失	147,774	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	438	△32
賞与引当金の増減額(△は減少)	△135,291	△127,098
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,000	△9,150
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,413	△3,159
受取利息及び受取配当金	△162,192	△170,369
支払利息	22,500	25,797
持分法による投資損益(△は益)	△12,549	△6,319
為替差損益(△は益)	133	12
投資有価証券評価損益(△は益)	97,083	3,516
固定資産除却損	15,634	2,334
固定資産売却損益(△は益)	△9,736	△8,078
営業債権の増減額(△は増加)	41,252	21,223
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70	2,197
その他の資産の増減額(△は増加)	△7,932	80,898
営業債務の増減額(△は減少)	△141,623	△49,694
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,186	17,616
その他の負債の増減額(△は減少)	20,435	51,838
小計	1,919,657	2,247,559
利息及び配当金の受取額	162,692	170,869
利息の支払額	△19,913	△28,036
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△645,877	△462,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,416,558	1,928,134
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,250,000	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△1,276,919	△3,479,653
有形固定資産の売却による収入	16,879	13,986
有形固定資産の除却による支出	△11,480	△164,160
投資有価証券の取得による支出	△111,582	—
その他	△23,340	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,656,443	△3,829,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△197,000	△312,390
リース債務の返済による支出	△23,551	△15,158
自己株式の取得による支出	△54	△61,843
配当金の支払額	△466,062	△424,893
非支配株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△687,423	884,958
現金及び現金同等物に係る換算差額	△133	△12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,927,442	△1,016,631
現金及び現金同等物の期首残高	8,326,760	6,641,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,399,318	5,625,233

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,685,095	9,656,859	5,552,580	19,894,536	—	19,894,536
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	76,637	22,367	—	99,004	△99,004	—
計	4,761,732	9,679,226	5,552,580	19,993,540	△99,004	19,894,536
セグメント利益	524,004	765,248	375,746	1,664,999	△493,749	1,171,249

(注) 1. セグメント利益の調整額△493,749千円には、セグメント間取引消去29千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△493,778千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「倉庫業」セグメントにおいて、梅小路地区の資産有効活用に伴い一部既存倉庫設備の解体の意思決定を行い将来の使用見込みがなくなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、147,774千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	4,806,916	9,525,807	5,660,899	19,993,622	—	19,993,622
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	90,828	18,553	—	109,381	△109,381	—
計	4,897,744	9,544,360	5,660,899	20,103,004	△109,381	19,993,622
セグメント利益	608,265	797,020	369,929	1,775,215	△537,346	1,237,868

(注) 1. セグメント利益の調整額△537,346千円には、セグメント間取引消去29千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△537,375千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。